

楽楽 OSS のお申込みについて

前提条件

楽楽 OSS システムを利用するためには「電子保安基準適合証システム (AIRAS)」と「OSS 申請共同利用システム (AINAS)」に登録されている情報を設定する必要がありますので、事前に両システムの利用申し込み及び設定が完了している必要があります。

電子保安基準適合証システム(AIRAS)

OSS 申請共同利用システム(AINAS)

所轄の整備振興会

OSS申請を依頼する申請代理人

両システムの利用申し込みは下記の申込先にご相談の上、利用登録及び設定をお願いします。

STEP 1

両システム登録完了後、楽楽 OSS システムに利用お申込みをお願いします。

お問い合わせ先

各都府県自動車整備商工組合 道内自動車整備協同組合

STEP 2

楽楽 OSS の利用者 ID 等を取得後専用サイトにログインし、必要事項を入力してから使用開始となります。

楽楽OSSシステム

整商連

日本自動車整備商工組合連合会推奨商品

新OSS連携サービス

楽楽OSS™



日本自動車整備商工組合連合会

(製造元・お問合せ先)
Support: 086-242-0810

VERTICE 株式会社ベルティス
<https://www.vertice.jp>

国交省データ連携により入力間違いを防止!! 4つのSTEPで簡単・確実に申請依頼が可能です。

電子保適の申請のみ
でも可能!!



一般的な整備業システムでは手入力が多く、入力ミスにより補正が発生する可能性があります...
楽楽OSSでは車検証情報の手入力を省略できます。入力ミスを防止し、業務負担を軽減しましょう。

楽楽OSSの特長



スマホアプリでQRコード読取り

楽楽OSSと連動するスマホアプリを無償で提供。車検証のQRコードから読み取った情報を元にデータ入力を進めることができます。もちろん読み取った登録番号や車台番号から国土交通省が管理する車検証情報(MOTAS)を取得することも出来ます。



国土交通省の車検証データ取得

国土交通省が管理する車検証情報(MOTAS)の利用により、使用者情報などこれまで手入力していた項目が自動入力されます。型式指定番号、類別区分番号の無い車両でも車検証情報を取得することが出来るため、入力時間を大幅に短縮出来ます。



システムが入力箇所をナビゲート

e-JIBAIの連携、電子保適の登録などで手入力が必要な箇所や必須項目は画面上に分かりやすく表示されます。また、入力が完了した時だけ登録ボタンが押せるようになるなど、システム内で迷子にならないよう工夫を凝らしています。もちろん、走行距離エラーチェックにも対応しています。

業務負担を軽減する便利機能



進行状況が一目で分かる一覧表

自賠責の登録や電子保適の登録などの進行状況が常にシステム上に表示されます。未処理案件が一目で分かるレイアウトになっており、漏れ、忘れを防止します。



複数のデータを一括処理

電子保適の一括登録、OSSの一括申請依頼に対応。一括処理が可能かどうかは、システムが自動判定を行いますので、誤って不備データが送信される心配はありません。



保安基準適合標章印刷

電子保適の登録が完了した後は、そのままの流れで適合標章を印刷することが出来ます。

申請依頼の手順の手入力箇所は？



手入力箇所は最小で5か所。簡単・確実に申請依頼が可能です。

その他の便利機能

車種別集計機能



車検証の種類別に一覧表を出力可能。CSV出力の為、貴社の用途に合わせて自由に加工が可能です。

検査手数料・重量税集計機能



検査手数料、重量税についてAINASからの戻り値戻り値が楽楽OSSの一覧表に連携されます。画面上での確認はもちろん、CSV出力も可能で集計業務の負担を軽減します。

※個々の車両毎に納付状況を画面提示可能です。

圧倒的な低価格

イニシャル費用

導入費用 **0** 円

ランニング費用

申請依頼 1 件あたり **15** 円 (税別)
国交省データを取得した場合別途 17 円 (税込) / 1 取得あたり